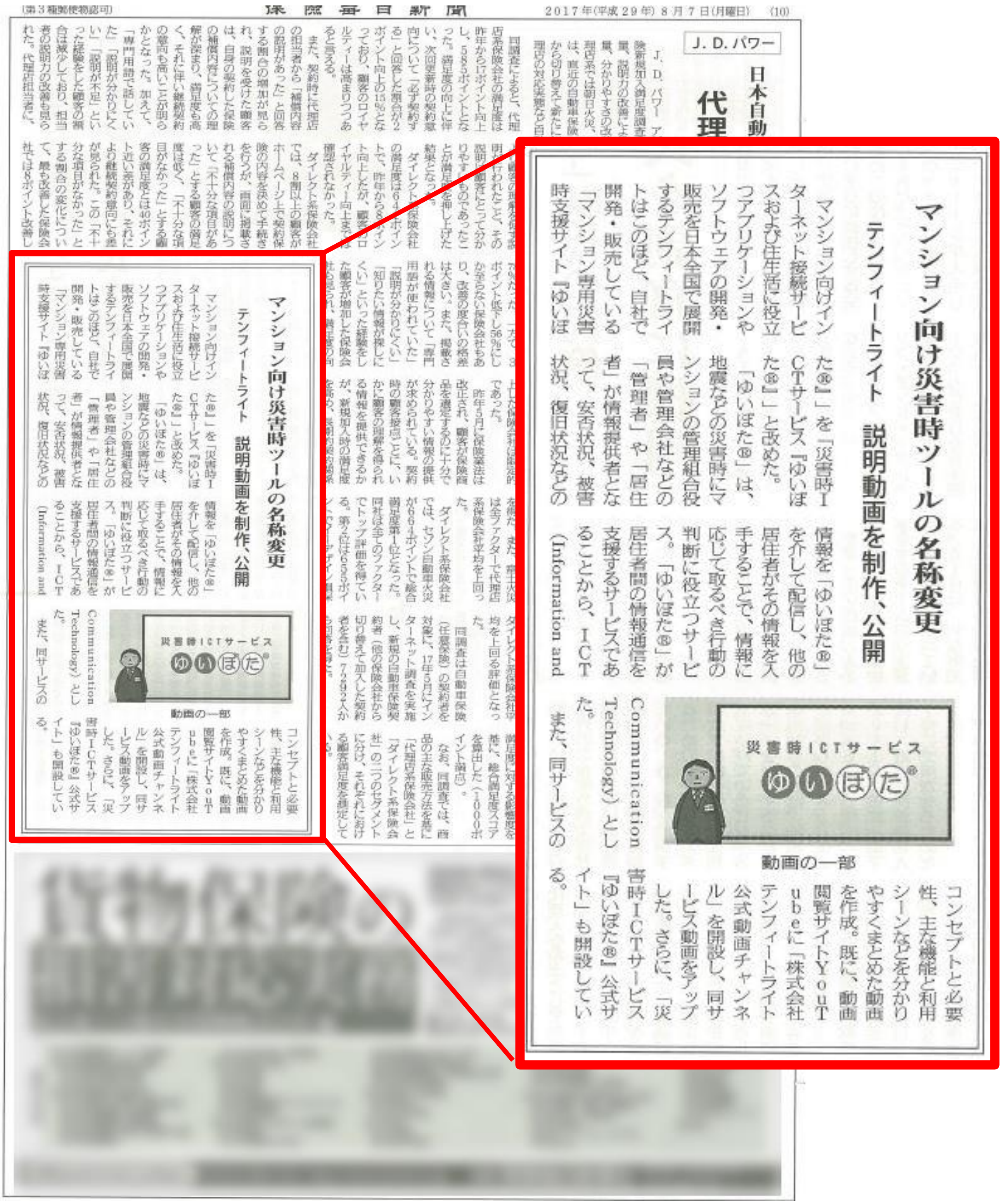
保険毎日新聞　2017.8.7



マンション向け災害時ツールの名称変更

テンフィートライト　説明動画を制作、公開

マンション向けインターネット接続サービスおよび住生活に役立つアプリケーションやソフトウェアの開発・販売を日本全国で展開するテンフィートライトはこのほど、自社で開発・販売している「マンション専用災害時支援サイト『ゆいぼた®』」を「災害時ICTサービス『ゆいぼた®』」と改めた。

「ゆいぼた®」は、地震などの災害時にマンションの管理組合役員や管理会社などの「管理者」や「居住者」が情報提供者となって、安否状況、被害状況、復旧状況などの情報を「ゆいぼた®」を介して配信し、他の居住者がその情報を入手することで、情報に応じて取るべき行動の判断に役立つサービス。「ゆいぼた®」が居住者間の情報通信を支援するサービスであることから、ICT（Information and Communication Technology）とした。

災害時ICTサービス　ゆいぼた®

動画の一部

また、同サービスのコンセプトと必要性、主な機能と利用シーンなどを分かりやすくまとめた動画を作成。既に、動画閲覧サイトYouTubeに「株式会社テンフィートライト公式動画チャンネル」を開設し、同サービス動画をアップした。さらに、「災害時ICTサービス『ゆいぼた®』公式サイト」も開設している。